



経口摂取のための物性を考慮した服薬補助ゼリーの開発

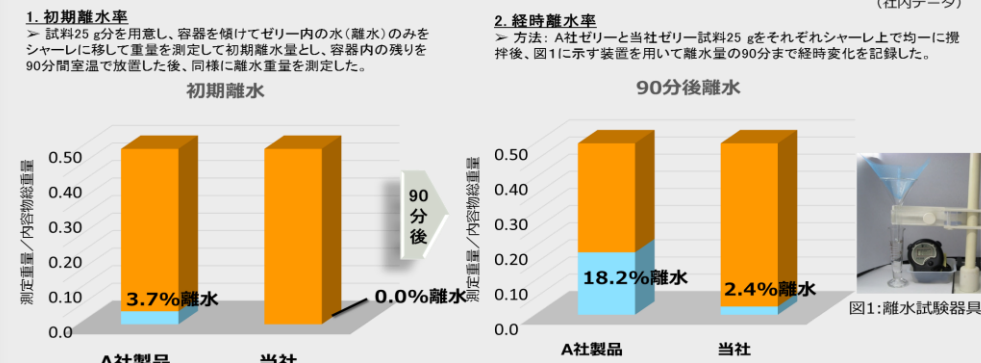
(株式会社モリモト医薬)

◆第8回日本在宅薬学会
学術大会
2015年7月20日
幕張メッセ 国際会議場

我が国は超高齢化社会を迎えようとしており、嚥下障害をもつ患者数も年々増加している中、新しい診療報酬改定にもあらわれているように、国としても経口摂取機能の回復を促進しています。そんな中、薬剤が飲みにくいという理由で、嚥下困難な方や高齢の方、お子様には錠剤を粉末状にして出すことがあります。本来、**錠剤はもっとも安定した状態**であるため、粉碎を行うと、変質や苦味の露出など様々な問題が生じます。

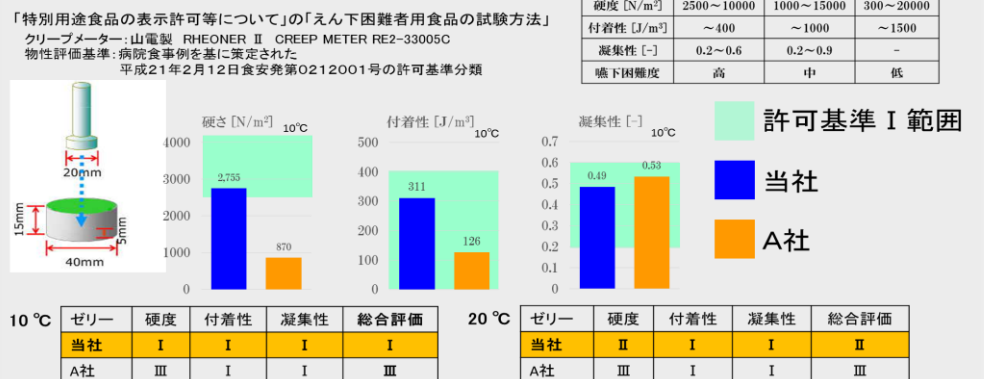
そこで、弊社は**錠剤やカプセルをそのまま楽に服薬可能**となる服薬補助ゼリーを開発し、評価を行ないました。

◆ゼリーからの離水量の比較 (当社ゼリーとA社ゼリーの、初期と90分後の離水率を比較)



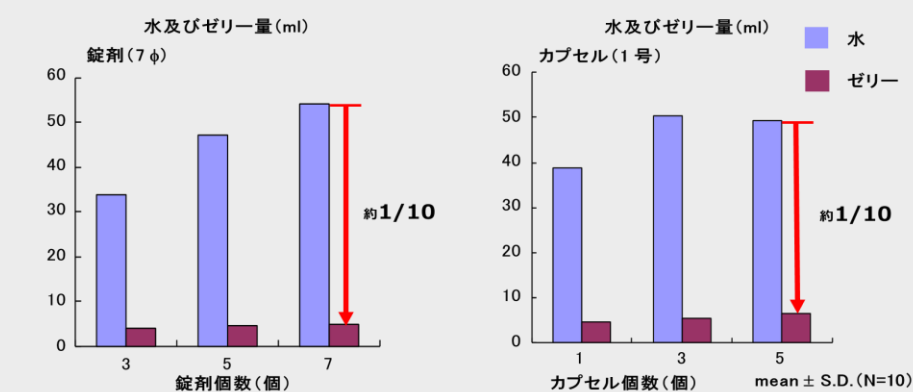
当社ゼリーは流動性を持ちながら、**総離水量が極めて少なく**、**離水速度もA社のゼリーと比較して遅い**。

◆服薬ゼリー物性の比較 (社内データ)



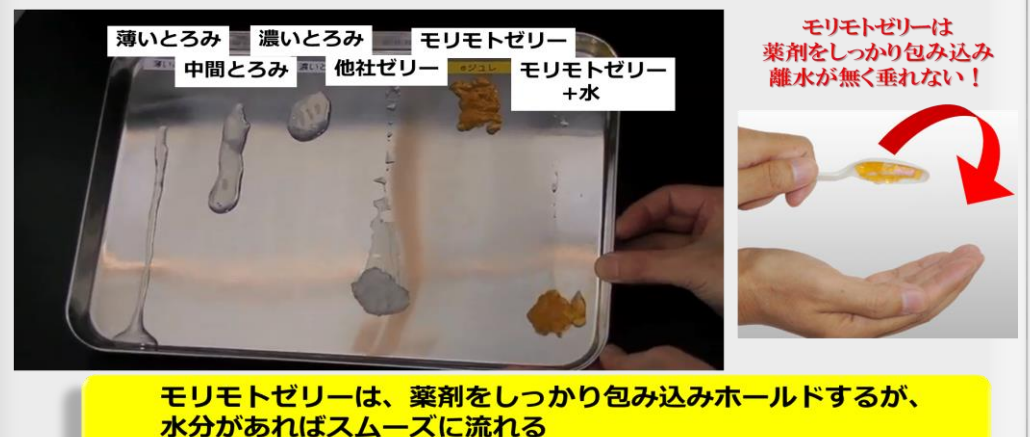
当社ゼリーは、服薬に本当に困っている**嚥下困難者にも適している**ことが示唆された

◆服用時に必要な水量とゼリー量の比較試験 (社内データ)



錠剤・カプセル共に服用性4 (飲みやすい) 評価を得るために
ゼリーは水の約 1 / 10 の量でよいという結果が出ました。

◆とろみ剤と服薬ゼリーの物性比較 (社内データ)



モリモトゼリーは、薬剤をしっかり包み込みホールドするが、**水分があればスムーズに流れる**

◆服薬補助ゼリー使用手順



◆特長

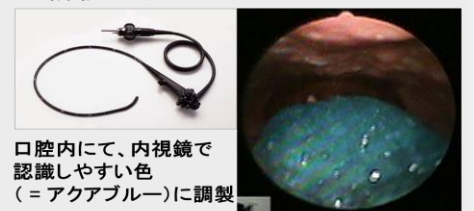
- 使いきりサイズで、密封されており衛生的
- 水分摂取制限の方にもおすすめ
- 薬物吸収への影響は及ぼさない※
- 離水していないので、誤嚥のリスクを軽減
- 嚥下困難者にも適した物性

※日本薬学会2015年3月 大阪薬科大学 薬剤学研究室発表

◆嚥下内視鏡検査 (videoendoscopic examination of swallowing : VE)

ー 摂食・嚥下力の評価にも ー

- 鼻腔から内視鏡を挿入し、咽頭の様子を観察する検査
- 声門閉鎖機能、残留や誤嚥の有無などを直接確認できる
- ベッドサイドでも行え、実際の食事場面を観察できる
- 食物のないようによる残留程度、空嚥下やゼリーなどでの交互嚥下によって残留物を除去できるかなどを確認
- 色形態による変化、リクライニング角度など姿勢の変化によって誤嚥防止できるか確認



口腔内にて、内視鏡で認識しやすい色 (= アクアブルー) に調製

当社ゼリーは、

- ① 物性が嚥下困難者にも対応
- ② 物性及び濃度が一定
- ③ 薬剤との食塊形成力に優れる

嚥下力評価 → 嚥下訓練 → 経口服薬
の全てのステージにおいて安心してご利用いただけます

◆まとめ

- 従来は、水での錠剤の服用が苦手・困難となれば自動的に**粉碎**していましたが、**最も安定状態である錠剤の粉碎が良くない**ことであるということは分かっていました。
- 当社は錠剤とカプセルを**粉碎することなく**、かつ容易に服薬できる嚥下補助ゼリーを開発しました。
- 試験の結果、当社の服薬ゼリーは**離水が極めて少なく**、物性としても**嚥下困難者への適用が可能**であることが示唆されました。
- 嚥下評価、嚥下訓練、経口の服薬といった**嚥下力の回復**に至るまでのプロセスが、**同一物性のゼリー**を用いて可能となり、より安全で安心なりハビリテーションが可能になると考えられます。

株式会社 モリモト医薬

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島5丁目8-28

お問合せ先 Tel: 0120-600-937 Mail: customer@m-ph.co.jp

ホームページ: <http://morimoto-iyaku.jp>

◆日本薬学会 第29年回、第30年会
◆簡易懸濁法研究会総会
◆医療薬学フォーラム2014
◆日本病院薬剤師会関東ブロック 第44回学術大会
◆第24回日本医療薬学会年会
◆JSPEN 2015
これらの学会で発表した内容を整理した資料です